

# 第14回 住宅系 研究報告会

2019年12月6日(金)、12月7日(土)

会場: 建築会館会議室 (東京都港区芝5丁目26番20号)

昨年度に引き続き、住宅・住宅系まちづくり研究に関わる横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有や研究者間の交流を目的に、第14回住宅系研究報告会を開催します。

本年度は30編の優れた論文が集まりました。研究報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通して、研究や活動が発展することを目指しています。

また、1日目夕方には、パネルディスカッションを開催し、総合的な議論の機会を設けます。  
住宅・住宅系まちづくりの研究・実践に取り組む方々のご参加をお待ちしています。

## □ 1日目 (12月6日)

10:00~10:10 開会挨拶・主旨説明: 梅本 舞子 (筑波技術大学)

10:10~11:25 セッション1 「住宅の平面構成の変容」4題

司会: 関川 華 (近畿大学)、コメンテーター: 藤岡 泰寛 (横浜国立大学)

12:45~13:45 セッション2 「移住と定住の現在」3題

司会: 三笠 友洋 (西日本工業大学)、コメンテーター: 鈴木 義弘 (大分大学)

13:55~15:40 セッション3 「社会的包摂と住まい・まちづくり」6題

司会: 後藤 智香子 (東京大学)、コメンテーター: 碓田 智子 (大阪教育大学)

16:00~18:00

パネルディスカッション

子育て・子育てから考える  
多世代居住の生活環境  
- 「ごちゃまぜ」を測る方法論を探る -

パネラー:

森田 眞希 (NPO法人地域の寄り合い所また明日)

西川 英治 (五井建築研究所)

コメンテーター:

佐藤 将之 (早稲田大学)

小林 秀樹 (千葉大学)

企画・コーディネート: 住宅系研究報告会 建築社会システム委員会幹事  
(内海康也・梅本舞子・小山雄資・後藤智香子・山本幸子)

18:30~ 懇親会

## □ 2日目 (12月7日)

10:00~11:30 セッション4 「住宅の共同性とマネジメント」5題

司会: 深井 祐紘 (株式会社プレイスメイキング研究所)、コメンテーター: 前田 昌弘 (京都府立大学)

12:30~13:45 セッション5 「団地・地域のストック再生」4題

司会: 山口 秀文 (神戸大学)、コメンテーター: 岡 絵理子 (関西大学)

13:55~14:55 セッション6 「居住地開発とその影響」3題

司会: 益尾 孝祐 (アルセッド建築研究所)、コメンテーター: 星 卓志 (工学院大学)

15:05~16:35 セッション7 「災害後の居住地再建とコミュニティ」5題

司会: 内海 康也 (国土技術政策総合研究所)、コメンテーター: 長谷川 洋 (国土技術政策総合研究所)

16:35~16:45 閉会の挨拶: 長谷川 洋 (国土技術政策総合研究所)

参加費: 会員 3,000円、会員外 4,000円、学生 1,500円 / 資料代: 5,000円 / 定員: 70名

事前申し込みにご協力下さい: <https://forms.gle/ejnEu2EbjGgmMU1r6> ※当日参加も可能です。

異なる世代や属性の人々が混在・共生する「ごちゃませ」を体現する施設のあり方が近年注目されています。この概念は、社会福祉から地域づくりへと展開していくことが期待されており、子育ての社会的な支援が進みつつあるなかで、「ごちゃませ」の取り組み事例の多くで子どもの姿がみられます。



# 子育ちから考える 多世代居住の生活環境

2019年12月6日(金)

16:00 ~ 18:00

日本建築学会 建築会館 会議室

(東京都港区芝5丁目26番20号)

パネラー

事前申し込み：<https://forms.gle/ejnEu2EbjGgmMU1r6>

森田眞希氏 …企画・運営の視点から  
(NPO 法人地域の寄り合い所また明日・代表理事)

西川英治氏 …空間設計の視点から  
(株式会社五井建築研究所・代表取締役)

コメンテーター

佐藤将之氏 (早稲田大学)

小林秀樹氏 (千葉大学)



「ごちゃませ」を測る方法論を探る

会員 3,000 円

会員外 4,000 円

学生 1,500 円

(住宅系研究報告会 2 日間の参加費も含まれています)

世代間の関係づくりをテーマとした昨年のパネルディスカッション「世代の“あいだ”を暮らす」を受け、今回は子どもにおもな視点をおいて、異なる世代・属性の人々が混ざることの意義、またそれを実現することの可能性や課題について議論を継続します。住まうところや預けられるところを自ら選ぶことができない子どもにとって「ごちゃませ」はどのように評価できるのか？、実践者と研究者をお迎えして多世代居住の生活環境のあり方を探ります。

企画・コーディネート：住宅系研究報告会 建築社会システム委員会・幹事  
(内海康也, 梅本舞子, 小山雄資, 後藤智香子, 山本幸子)